

## X 各教科・科目の学習内容

### 【1】国語 の学習について

#### 1 必履修科目・自由選択科目について

必履修科目は「国語総合」です。

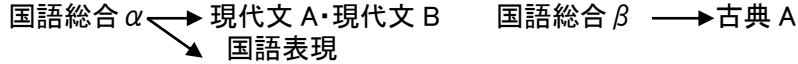
「国語表現」「読み書き演習」「現代文A」「現代文B」「古典A」は自由選択科目です。

#### 2 履修上の注意点

(1) 「国語総合(4単位)」は、本校では「国語総合α」「国語総合β」(各2単位)に分けて履修します。

(2) 3年間での卒業を計画する場合には、「α」「β」の両方を1年次で履修するようにしてください。

#### 3 国語の各科目の履修順序



#### 4 履修モデル (○必履修 ●選択必履修 ・自由選択)

【3年間で卒業を目指す場合】

1年次	2年次以降	
	進学	就職
○国語総合α ○国語総合β	・国語表現 ・読み書き演習	
	・現代文B ・古典A	・現代文A

【4年間で卒業を目指す場合】

1年次	2年次	3年次以降	
		進学	就職
○国語総合α	○国語総合β	・国語表現 ・読み書き演習	
		・現代文B ・古典A	・現代文A

#### 5 国語の教科目標、履修について

##### (1)教科目標

国語を適切に表現し、理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

##### (2)評価の観点及びその趣旨、方法

###### ア 観点及び趣旨

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
書く能力	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	伝統的な言語文化および言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

###### イ 評価の方法

観点	項目	達成評価	活動評価
関心・意欲・態度		考査	出席 教師の観察 自己評価
話す・聞く能力		考査	発表の様子や聞く様子等 感想文
書く能力		考査	感想、課題・ノート等提出物
読む能力		考査	感想、課題・ノート等提出物
知識・理解		考査	小テスト

#### (3)実技・実習等

特になし。

#### (4)留意事項

推薦する国語辞典、古語辞典、漢和辞典等は授業中に紹介します。

# 教科            国 語

科 目 名	国語総合α	単位数	2	履修区分	必修科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		高等学校 改訂版 標準国語総合（第一）	
		使用教材		国語辞典 漢和辞典	
履修の条件	「国語総合β」を必ず履修すること。	教材費等			
特色	① 中学校までに学んだ語句や漢字の復習を取り入れつつ、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」について、基礎となる能力の定着を図ります。 ② 高校生としてふさわしい国語力を段階的に養成します。 ③ 近代以降の文章を読解し、場や目的に応じて表現する力を養います。				
主な学習内容	① 近代以降の作品の読解 ② 漢字・語彙 ③ 効果的な話し合いの方法 ④ 国語辞典・漢和辞典の活用法 ⑤ 原稿用紙の使い方・基本的な手紙の書き方				
備考					

科 目 名	国語総合β	単位数	2	履修区分	必修科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		高等学校 改訂版 標準国語総合（第一）	
		使用教材		古語辞典	
履修の条件	「国語総合α」を必ず履修すること。	教材費等			
特色	① 基礎的な単語や文法を学習し、古典を「読むこと」の基礎となる能力の定着を図ります。 ② 高校生としてふさわしい国語力を段階的に育成します。 ③ 作品の読解を通して、古典の世界に親しむ態度を育て、伝統と文化に対する理解を深めます。				
主な学習内容	① 古典の作品の読解 ② 基本的な古語と文語文法 ③ 漢文の読み方の基礎 ④ 古語辞典の活用法				
備考	3年間での卒業を目指す生徒は、1年次で受講すること。				

# 教科            国 語

科 目 名	国語表現	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		国語表現 改訂版 (大修館) (予定)	
		使用教材		国語辞典 漢和辞典	
履修の条件	「国語総合α」を先に履修していること。	教材費等			
特 色	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 語句や漢字の学習を取り入れつつ,生活の中にある様々な表現を学び,「話すこと・聞くこと」「書くこと」の力を育成します。</li> <li>② 自分の考えをまとめ,意見を伝え合うことで,言語感覚を磨き,思考力・表現力を身に付けます。</li> <li>③ 目的や場に応じた適切な表現を学び,社会人として必要な表現力を身に付けます。</li> </ul>				
主 な 学 習 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 効果的な話し合いの方法・討論の技術</li> <li>② 場に応じた言葉遣い・文体</li> <li>③ 表現技術の分析</li> <li>④ 作文・レポートの書き方</li> <li>⑤ 漢字・語彙</li> <li>⑥ 国語辞典・漢和辞典の活用法</li> </ul>				
備 考					

科 目 名	現代文 A	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		現代文A (大修館) (予定)	
		使用教材		国語辞典 漢和辞典	
履修の条件	「国語総合α」を先に履修していること。	教材費等			
特 色	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 近代以降の文章に幅広く接し,「読むこと」の力を中心に国語力の向上を図ります。</li> <li>② 様々な表現に触れることで,言語文化についての理解を深め,文章を読む楽しさを味わう態度を育成します。</li> </ul>				
主 な 学 習 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 近代以降の作品の読解</li> <li>② 文章の作成</li> <li>③ 漢字・語彙</li> <li>④ 国語辞典・漢和辞典の活用法</li> <li>⑤ 効果的な話し方・聞き方</li> <li>⑥ 作文・レポートの書き方</li> </ul>				
備 考					

教科 国語

科目名	現代文 B	単位数	4	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書	高等学校 改訂版 標準現代文 B (第一) (予定)		
		使用教材	国語辞典 漢和辞典		
履修の条件	「国語総合 α」を先に履修していること。	教材費等			
特色	① 近代以降の文章に幅広く接し、「読むこと」の力を中心として「話すこと・聞くこと」「書くこと」の力を育成します。 ② 様々な表現に触れ、的確に内容を読み取ることで、思考力・表現力を高め、人生を豊かにする態度を育てます。				
主な学習内容	① 近代以降の作品の読解 ② 文章の作成・表現 ③ 漢字・語彙 ④ 国語辞典・漢和辞典の活用法 ⑤ 効果的な話し方・聞き方 ⑥ 作文・レポートの書き方				
備考					

科目名	古典 A	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書	高等学校 改訂版標準古典 物語選 (第一) (予定)		
		使用教材	古語辞典		
履修の条件	「国語総合 β」を先に履修していること。	教材費等			
特色	① 日本古典文学の代表的な作品について、「読むこと」に重点をおき学習していきます。 ② 古文と漢文を読むことを通して、伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむ態度を育成します。				
主な学習内容	① 古典作品の読解 ② 古語と古典文法 ③ 漢文の読み方の基礎 ④ 古語辞典の活用法				
備考					

教科 国語

科目名	読み書き演習	単位数	2	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書	しっかり書いて意味で覚える漢字トレーニング (いいずな書店)(予定)		
		使用教材			
履修の条件	特になし	教材費等	テキスト代等		
特色	漢字の読み、書き取り、熟語等の学習を通して漢字を正しく使えるようにし、語彙を豊かにします。				
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 漢字の読み・書き取り</li> <li>② 部首</li> <li>③ 送り仮名</li> <li>④ 対義語・類義語</li> <li>⑤ 同音・同訓異字</li> <li>⑥ 誤字訂正</li> <li>⑦ 熟語の構成</li> </ul>				
備考					